

NEWS

永谷園名物企画が、約20年ぶりについに蘇る！

お茶づけ商品に東海道五拾三次カード封入を復活！
フルセットプレゼントキャンペーンも同時復活！

株式会社 永谷園(社長:飯塚 弦二郎、東京都港区)は、1965年(昭和40年)~1997年(平成9年)の約30年間、お茶づけ商品などの主要商品に浮世絵等を印刷したカードを封入していました。「東海道五拾三次」や海外の名画を「東西名画選カード」シリーズとして展開。希望のシリーズがフルセットとして当たるプレゼントキャンペーンは、大変ご好評いただきました。近年の日本文化への注目度の高さから、その名物企画を復活し、お茶づけ主要商品を対象に「東海道五拾三次」カードを封入した商品を2016年11月より順次発売いたします。併せて、「東海道五拾三次カード」フルセットが当たるキャンペーンや新CM放映を開始しますので、ご案内申し上げます。



始まりは、“検印紙”

64年前の1952年に発売した「お茶づけ海苔」は、現在は生産工程の大部分が機械化されていますが、50年程前までは人手をかけて生産を行っていました。当時、商品の検査確認の意味で、確認印を押した無地の検印紙を封入していました。その検印紙を有効利用することにより、お客様がご家族で日本文化・芸術に興味をお持ちいただき、文化普及の一助になればという想いから、伝統的・芸術的価値の高い絵画を検印紙に印刷したのが始まりです。

「東海道五拾三次」から徐々に種類を増やし、「喜多川歌麿」「東洲斎写楽」「富嶽三十六景」「ルノワール」「ゴッホ・ゴーギャン」「印象派(マネ、セザンヌ、ドガ、スーラ)」「シルクロード・中国編」「竹久夢二」「日本の祭」の全10種類のシリーズとして展開していました。カードの応募券を規定の枚数で応募すると1セット当たるプレゼントキャンペーンを同時に実施し、キャンペーンの累計応募数は約500万口にも及びました。大変反響が大きく、当社の名物企画となりました。約30年実施しましたが、キャンペーンとしての役割を果たしたことから1997年に惜しまれながら休止しました。キャンペーン休止後、最近までカード封入・キャンペーン復活のご要望の声をお客様からいただくほどの記憶に残る企画でした。

今こそ伝えたい日本文化

和食のユネスコ無形文化遺産登録や、「クールジャパン」、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う日本文化の再評価など、近年、日本のあらゆる文化に国内外問わず注目が集まっています。その日本文化を身近なところから実感していただく機会になればと、この度、「東海道五拾三次」デザインのカード封入を復活する運びとなりました。「東海道五拾三次」は、以前実施していたプレゼントキャンペーンで最も応募が多かったシリーズであり、また近年の浮世絵ブームで人気が高まっていることから、日本文化を象徴するものとして採用しました。カード復活に当たり、当時人気を博したフルセットプレゼントキャンペーンも開始します。

「東海道五拾三次カード」封入商品

【対象商品】 お茶づけ海苔(4袋入・8袋入)、さけ茶づけ(3袋入・6袋入)、梅干茶づけ(3袋入・6袋入)、わさび茶づけ(3袋入・6袋入)、たらこ茶づけ(3袋入・6袋入)
※インパックの特殊形態商品を含む

【封入時期】 2016年11月出荷分より順次自然切替

「東海道五拾三次カード」フルセットプレゼントキャンペーン

【実施期間】 2016年11月～2019年1月31日

【応募方法】 対象商品のパッケージについている応募マーク(味ひとすじマーク)3枚を1口とし、葉書にテープなどでしっかり貼り、郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を必ずご記入の上ご応募ください。

【応募締切】 2016年11月～2019年1月31日(当日消印有効)
毎月月末到着分まで有効

【景品・当選者数】 景品：東海道五拾三次カードフルセット(55枚入)
当選者数：毎月1,000名様

お茶づけ海苔新CM「東海道五拾三次キャンペーン 復活」篇



・2016年11月19日(土)～

・なんと、遠藤関が東海道五拾三次の世界へタイムスリップ！浮世絵の世界で、お茶づけの美味しさと、東海道五拾三次カードの魅力をお伝えます。普段からよく召し上がってくださっているお茶づけを、今回のCMでもおいしそうに食べる遠藤関の表情に注目です。

お問い合わせ先

お客様からのお問い合わせ先：(株)永谷園 お客様相談室 Tel. 0120-919-454
報道各位からのお問い合わせ先：(株)永谷園ホールディングス 広報部 Tel. 03-3432-2519